

中学生の山田春子さんは地元町内会の清掃活動にボランティアで参加した。その時の清掃活動の責任者で、いろいろとお世話になった加藤さんから、後日、電話があった。その電話での「会話」と、それについての「問い」を一度聞き、答える。

山田　　もしもし、山田です。

加藤　　町内会の加藤と申します。

山田　　ああ、加藤さんですか。先日の町内清掃では、娘がお世話になり、ありがとうございます。

加藤　　こちらこそ。実は、その清掃活動の件で、ちょっと春子さんとお話ししたいのですが。いらっしゃいますか。

山田　　今呼びますので少々お待ちください。

春子　　もしもし、お待たせしました。先日はお世話になりました。

加藤　　いえいえ、こちらこそどうもありがとうございました。清掃活動に参加してみようでしたか。

春子　　そうですね、今まではあまり気になりませんでした。案外、たくさんの空き缶が捨てられていたのに驚きました。普段から、もつと一人一人が周囲の環境に関心を持つ必要があると思えました。

加藤　　そうなんです。実際に清掃活動してみると、意外に汚れているところが多いことに気付くんです。私は、一人でも多くの人が町内の美化に関心を持って、清掃活動に参加してくれるようになればと思っています。山田さんも、またこうした機会があれば、ぜひ参加してくださいね。

春子　　はい、もちろんです。私も、多くの人に清掃活動に参加してほしいと思います。今度は友達も誘ってみますね。

加藤　　ところで、今日は一つお願いがあってお電話したのです。実は、次回の町内会だよりに今回の清掃活動のことを載せるんですが、活動に参加した感想をぜひ山田さんに書いていただきたいのです。どうでしょうか。

春子　　はあ。あまり、感想文は得意ではないので、自信がないのですが、どのくらいの分量で、いつまでに書けばいいのですか。

加藤　　四百字詰め原稿用紙一枚程度で結構です。それほど難しく考えず、感じたことをそのまま書いてくださればいいですよ。

春子　　じゃあ、今回の活動のまとめとして、書いてみようと思います。

加藤　　ありがとうございます。あまり時間もなく無理を申しませんが、どうかお願いしますね。

春子　　はい。私の感想を読んで、町内の美化に関心を持って清掃活動に参加してみようという人が一人でも増えるように、がんばって書いてみます。

加藤　　私もそうやってほしいと思っています。それではよろしく願います。

春子　　はい。

加藤　　では、失礼します。

春子　　失礼します。

① 感想文に関する春子さんの質問に対して、加藤さんは答えていないことが一つありますが、それは何ですか。解答欄に合うように、十字程度で書きなさい。

② 加藤さんと春子さんの会話についての説明として最も適当なのは、(1)～(4)のうちではどれですか。

(1) 春子さんは、伝えられた内容は復唱して必ずその場で確認するようにしている。

(2) 春子さんは、実際の体験に基づいて自らの考えをはっきりと相手に伝えている。

(3) 加藤さんは、対立する考えを紹介しながら、自分の意見を効果的に伝えている。

(4) 加藤さんは、自分の主張する考えや意見を何度も繰り返して強調している。

③ 加藤さんと春子さんは、町内の美化に関して、ある共通する願いを述べていますが、それはどのような願いですか。解答欄に合うように、具体的に三十文字以内で書きなさい。

注意

字数が指定されている設問については、「」や「」も一ます使いなさい。

1

【聞き取り検査】放送による指示に従いなさい。答えは、解答用紙に記入しなさい。

2

次の文章を読んで、①～⑤に答えなさい。

人間は物語が好きである。人間が言語を獲得した時から、おそろく神話が生まれたであろう。それとともに人々が語り合った話は、「昔話」や「伝説」として伝えられてきた。その物語によって、人々は過去の結び付きや、その土地との結び付き、人間相互の結び付きを強めることができた。現代の言葉を用いると、ある部族や家族などのアイデンティティのために、物語が役立ってきたと言える。

物語の特性の中で強調したいのは、「関係付ける」働きであろう。非常に単純な例を考えてみよう。コップに野草の花が一つ挿してある。それだけのことなら、別に誰もその花に注目しないかもしれない。しかし、それは病気で寝ている母親を慰めようとして十歳の少女が下校の時摘んできたのだと知ると、その花が単なる花でなくなってくる。その花を介して、その少女に親しみを感じ、その母親の間の感情がこちらに伝わってくる。そこに「関係付け」ができてくる。そのことに感激すると、そのことを誰かに話したくなる。友人に話をする時、少女が花を買おうと思ったのだが、彼女には高すぎたので困ってしまったが、ふと野草の花を見つけて……というふうな話が少し変わることもある。

だから「物語」は信用できないという人がある。それも一理ある。だからといって、それが無意味というのもおかしい。物語を語ることによって、母親の関係の在り方がわかり、それに感動することによって、語り手と聞き手との間に関係が生まれ、このように「関係の輪」が広がっていくところに意味がある。関わりの中の真実が、それによって伝わっていく。

物語が急速に価値を失うのは、近代になってからであろう。それには自然科学の果たした役割が大きい。自然科学は外的事実の間の「関係」、特にその「因果関係」を見出すことに努力するが、そのような外的事実を、観察者（研究者）とは関係のないものとするのが前提となっている。このために、そこに見出されたものは個人を超える普遍性を持っている。この「普遍性」ということが実に強力である。つまり自然科学によって見出された結果と技術とがうまく結合すると、人間は事象の「外側に」立って、それをコントロールし、操作できる立場を獲得する。この方法があまりにも効果的であるために、人間は科学の知によってすべてのことが可能になると思ったり、科学の知こそが唯一の真理である、とするような思い違

3

次の文章を読んで、①～③に答えなさい。

白菊の花をよめる

心あてにをらばやをらむ初霜のおきまどはせる白菊の花  
凡河内躬恒

「心あてに」は、「当て推量で」という意味で、全体の意味としてはこういうことでしょう。「もし折るのなら当て推量で折ることにしようか。何しろ初霜が降りて、その白一色のおかげで、真白な白菊の花が見分けもつかず紛らわしくされてしまっているから。」つまり、霜と菊を、白さという点で同一視している。しかし、何といてもそんなことはありえないわけで、正岡子規がこの歌を槍玉にあげているのもわかります。初霜が降りたくらいで白菊と区別がつかなくなるなんていうことは、とてもありえない、嘘っぱちだ、と。

一方この歌は、凡河内躬恒自身の自賛の歌なのです。そして、紀貫之を初めとして古今和歌集の撰者たちはこれを入集したのですから、もちろん優れていると見ていたわけです。

この歌を認める側に立って見ますと、この歌の眼目というのは、結局、霜と菊が紛らわしいというふうな実景の上での面白さにあるわけではないのです。初霜が降りた。その呼び起こすがすがしさ、冬がやがてやってくるその訪れを告げ、身を引き締めるようにさせる初霜の厳しさと、もう一方で、白菊の清楚な気品、すがすがしさ、一種の厳しく鋭い感じ、そういうものが実景においてではなく、観念の中で近付けられている。二つを同じ場所に置いているのです。

いをしたのではなからうか。

このような思い違いをすることによって、多くの現代人はこの世との「関係」を切断され、根無し草のようになってしまった。便利で能率よく生活することが可能になったが、いったい何のために生きているのか、その意味が急に希薄に感じられるようになったのである。「意味」とは、関係の在り方の総体のようなものである。私と私を取り巻く世界との関係がどんなものがわからずに生きていても、「意味」が感じられないのも当然である。

(出典 河合隼雄「物語と人間」)  
(注) アイデンティティ——自分という存在の独自性についての自覚。

① ———の部分⑦、⑧、⑨の漢字の読みを書きなさい。

② 漢字の成り立ちの種類(方法)のうち、「下」のように、絵では示しにくい形のない事柄を抽象的な記号や図形で表したものを何というか。漢字で書きなさい。

③ 「それが無意味というのもおかしい」とあるが、筆者は、「物語」の意味を、何が伝わる点に見出しているか。解答欄に合うように、文章中から八字で抜き出して書きなさい。

④ 「自然科学」が、人間に対して、「自然科学……獲得する」に見られるような影響力を持つことができたのはなぜか。その理由を、これより前の文章中のことばを使って六十文字以内で書きなさい。

⑤ この文章から、「物語」は人間にとってどのような役割を果たしていたと考えられるか。その役割を説明したものとして最も適当なのは、(1)～(4)のうちではどれですか。

- (1) 人間とものとの関係付けることによって、誰もが理解可能なものの客観的な姿を提示する役割。
- (2) 人間とその住む土地や過去との生きた関係を新たに構築し、人間に言語を獲得させていく役割。
- (3) 事象をコントロールし操作できる立場を人間に獲得させることによって、真理を悟らせる役割。
- (4) 生きる意味を感じることにつながる、自分を取り巻く世界との関係を人間に強く意識させる役割。

そこに感興の源泉がある。物にじかに密着するのではなくて、物が呼び起こす観念の重ね合わせの中に詩情を感じているわけで、中心になっているのは物ではなく心なのです。

(出典 大岡信「四季の歌恋の歌」)

① 「をらばやをらむ」を意味の上で、一か所切るとしたとき、どこで切るのが最も適当か。切る部分の次の二字を書きなさい。

② 「初霜の……白菊の花」が表現している様子を説明したものとして最も適当なのは、(1)～(4)のうちではどれですか。

- (1) 初霜が降りて現実にはない白菊があるように見えている。
- (2) 初霜が降りて白菊と霜との区別がつかなくなっている。
- (3) 初霜が降りて白菊が窓から見付けられなくなっている。
- (4) 初霜が降りていつもより白菊の形が際立って見えている。

③ 次の文が、この和歌に対する筆者の評価をまとめたものになるよう、[A]、[B]に入れるのに最も適当なことばを、[A]については二字、[B]については十五文字でそれぞれ文章中から抜き出して書きなさい。

この歌の眼目は、初霜と白菊とを [A] として同一視することの面白さにあるのではなく、作者が、霜や菊から呼び起こされたものを同じ場所に置いている点、つまり、 [B] に詩的な情趣を感じているところにある。

4

次の文章は、小学生の「きみ（ブン）」と、同じクラスに転校してきたばかりの「中西君」との野球のポジション争いに続く場面である。これを読んで、①～⑥に答えなさい。

「今のケンカ、ブン、負けたと思う？」お姉ちゃんに訊かれて、きみは「うん……。」と低い声で答え、アイスをまたかじる。「正直じゃん。」とお姉ちゃんは笑った。お姉ちゃんは、今度は中西君に話しかけた。「中西君って、何でもできるよね。」……そんなこと、ないです。「負けたことなんて一度もないんじゃない？」ブンもあなたが転校してくるまでそうだったんだけど、と付け加えた。「この公園に来るの、久しぶりだなあ。」とお姉ちゃんは言った。「来たことあるの？」「子どもの頃……っというか、そうだ、ブンと同じ、五年生の頃。由香と遊んだの。」懐かしい名前だ。お姉ちゃんのとった一人の友だち——いつか「親友なんでしょ？」と言ったら、「知ったふうなこと言うな。」と本気で怒られた。お姉ちゃんは公園を見渡し、一人で納得してケリをつけたみたいにならずに立ち上がった。

「ねえ、モデルになってよ。このままでいいし、こっちは見なくていいから。」中西君が気をつかって腰を浮かせかけたら、お姉ちゃんはデジタルカメラを構えながら「違う違う。」と言った。「あなたたち二人ともモデル。」きみはためらいながら、お姉ちゃんの座っていたところに移って、中西君との距離を詰めた。でも、これも「違うってば。」と言われた。「間が空いてなきやだめじゃん、友だちになる五分前」って感じで。「ないないないっ、そんなのないよ——」とは言えなかった。ちらりと横を見ると、中西君も耳の付け根を赤くして、あせったようにアイスをかじっていた。

写真をもう一枚撮ることになった。お姉ちゃんはジャングルジムを指さして、「二人とも、わたしが言うとおりの場所に登ってほしいの。」と言った。きみと中西君は、立体の格子の「へり」の場所に腰かけた。お互いにそっぽを向いた格好で、段も、列もずれている。「ねじれの位置」というんだと、お姉ちゃんが教えてくれた。中学校の数学で習う言葉なのだという。「口で言うのって難しいんだけど、二本の直線が、平行じゃないんだけど、交わらないの。ずれてるっていうか、空間の奥行きが違ってるっていうか……とにかく、今のあなたたちみたいなのをねじれの位置っていうの。」よくわからぬ。ただ、横にまっすぐ手を伸ばしても、上や下にまっすぐ伸ばしても、二人の手はぶつからない。

お姉ちゃんはジャングルジムのまわりを歩く。モニターを覗いて首をかしげたり、「ちよつと違うかなあ。」とつぶやいたり、ジャングルジムから遠ざかったり、また近付いたりして、なかなかアングルが決まらない。「さっき、オレがコンビニに行ってるって、姉貴と何しゃべってたの？」「何も……お姉さん、ずっと写真撮ってた、雲の写真。」「だからオレ、お姉さんって無口な人だと思ってたんだけど。」「無口っていうか、無愛想だろ。」笑いながら言うのと、中西君も、ちよつと困ったふうにならぬ。まあ……。」と笑った。

ふと見たら、お姉ちゃんはジャングルジムからだいぶ遠ざかっていた。遠ざかってくれたのかもしれない、と思った。中西君も同じことを考えていたのか、「それでさ……。」と野球のことを切り出した。「オレ、マジ、リリーフでいいから。」理由があった。中西君の投げ癖がカーブやシュートはよく曲がる。でも、そのぶん、すぐに肘や手首が痛くなってしまう。「でも、一イニングだったらばっちりだから、先発がおまえで抑えがオレだったら、絶対に打てないよ、相手。」なるほど、とうなずいた。いいじゃん、無敵の黄金リリー

じゃん、とムネがふわつと浮き立って、でもそれを悟られなくなかったので、「オレ、完投するけど。」と言った。ねじれの位置は、わざとつけなくしゃべるときにも、いい。代わりに、きみは半ズボンのポケットを探る。「ボンタン餡、食うか？」「何それ。」「嫌いなのか？」「ってほどじゃないけど……ねちゃんねちゃんするじゃん、園に。あと、なんか甘ったるいし。」同じだ。そういうところは気が合うんだな、ときも笑った。「でも、姉貴は好きなんだよ、ボンタン餡。」「そうなの？」「うん、甘ったるくて、ねちゃんねちゃんするところがいいんだって。」変わってるだろ、ときもは笑う。ヘンだよなあ、と中西君も笑う。その笑顔を——お姉ちゃんに撮られた。モニターでガソウを確かめたお姉ちゃんは、顔を上げ、「今、二人ともおんなじ笑い方してたよ。」と言った。（出典 重松清「きみの友だち」）

(注) リリーフ——野球の試合で、途中の回（イニング）から救援として投げる投手を「リリーフ」、特に、相手の反撃を封じ最後をしめくくる投手を「抑え」と呼ぶ。また、先発した投手が最後まで一人で投げきることを「完投」という。

① ———の部分②、④を漢字に直して楷書で書きなさい。  
② 「二人とも、……登ってほしいの」とあるが、二人にこのようにさせることによって、「お姉ちゃん」は何に気付かせようとしているか。その内容が最も端的に表れた「お姉ちゃん」の発言を、文章中から二十五字以内で抜き出して書きなさい。

③ 「同じこと」の内容を説明した次の文の□□に入れるのに適切なことばを、文章中のことばを使って二十字以内で書きなさい。  
お姉ちゃんは□□、ということ。

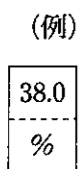
④ 「オレ、完投するけど」とあるが、このときの「きみ」の気持ちを表したことばの組み合わせとして最も適当なのは、(1)～(4)のうちではどれですか。  
(1) 不安と自負 (2) 期待と驚き  
(3) 喜びと照れ (4) 驚きと意地

⑤ この文章で描かれている場面について説明したものとして最も適当なのは、(1)～(4)のうちではどれですか。  
(1) 新しい友人関係を生み出していく弟に嫉妬を感じながらも、弟のために尽くそうとする「お姉ちゃん」の愛情が描かれている。  
(2) 「お姉ちゃん」の思いやりに応えることができず、思わず互いに強く反発してしまう二人の少年の複雑な心情が描かれている。  
(3) 弟がケンカに負けたことに憤慨しながらも、自然に修復される二人の関係を温かく見守る「お姉ちゃん」の姿が描かれている。  
(4) ケンカをした二人の少年の関係が、「お姉ちゃん」のはからいによって、徐々に良好なものへと変化する過程が描かれている。

⑥ この文章の表現上の特徴について述べたものとして最も適当なのは、(1)～(4)のうちではどれですか。  
(1) 会話文が中心となって場面が展開している。  
(2) 一貫して「お姉ちゃん」の視点から場面が描かれている。  
(3) 効果的な対句表現が多く用いられている。  
(4) 自然の景物が印象的な比喻によって表現されている。

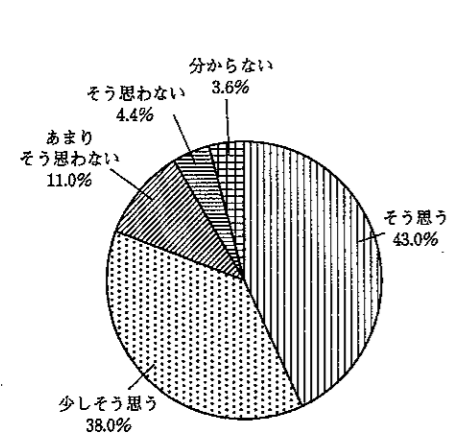
5

下のグラフは、文化庁が実施した「平成十六年度国語に関する世論調査」の結果の一部で、「最近、敬語の使い方に間違いが多くなってきているという指摘がありますが、あなたはそう思いますか。」という問いに対する回答結果を示したものである。このグラフを見て、あなたは、敬語についてどう考えるか。あなた自身の敬語に対する意見文を、あとの条件に従って百五十文字以内で書きなさい。（なお、グラフ内の数値を表記する場合は左の例を参考にする。）



- 条件 1 グラフから読み取ったことにふれながら意見を述べること。 2 あなたの主張が的確に伝わるよう、根拠や理由を含めること。

問 「最近、敬語の使い方に間違いが多くなってきているという指摘がありますが、あなたはそう思いますか。」



(「平成十六年度国語に関する世論調査」による)

受番	検号
(算用数字)	
志願校	

解答用紙

※

1

① 感想文を

Blank writing area for question 1.

② ということ。

③

Blank box for question 1.

③ という願い。

Blank writing area for question 2.

2

① ⑦

Blank box for question 2.

めまうと

②

Blank box for question 2.

して

③

Blank box for question 2.

②

Blank box for question 2.

文字

③

Blank box for question 2.

④ が伝わる点。

④

Blank writing area for question 3.

⑤

Blank box for question 3.

3

①

Blank box for question 3.

②

Blank box for question 3.

③ A

Blank box for question 3.

B

Blank writing area for question 3.

4

① ⑦

Blank box for question 4.

②

Blank box for question 4.

②

Blank writing area for question 4.

③

お姉ちゃんは

Blank writing area for question 4.

、  
。やういふ。

④

Blank box for question 4.

⑤

Blank box for question 4.

⑥

Blank box for question 4.

5

Large blank writing area for question 5.